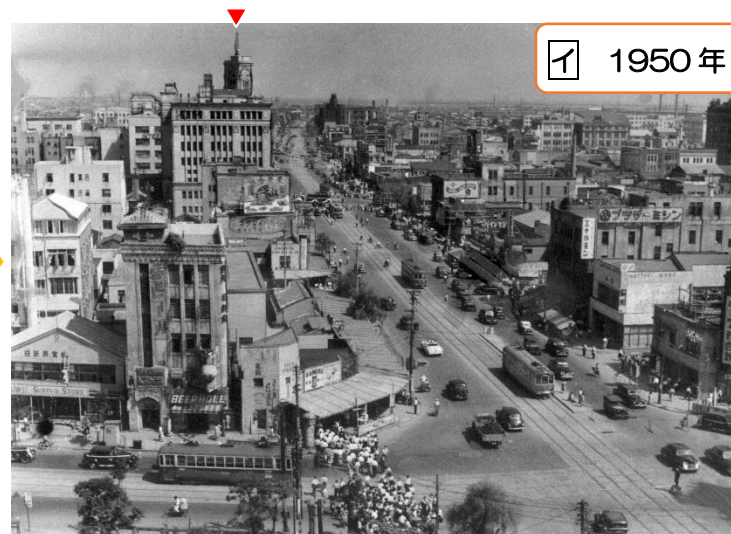
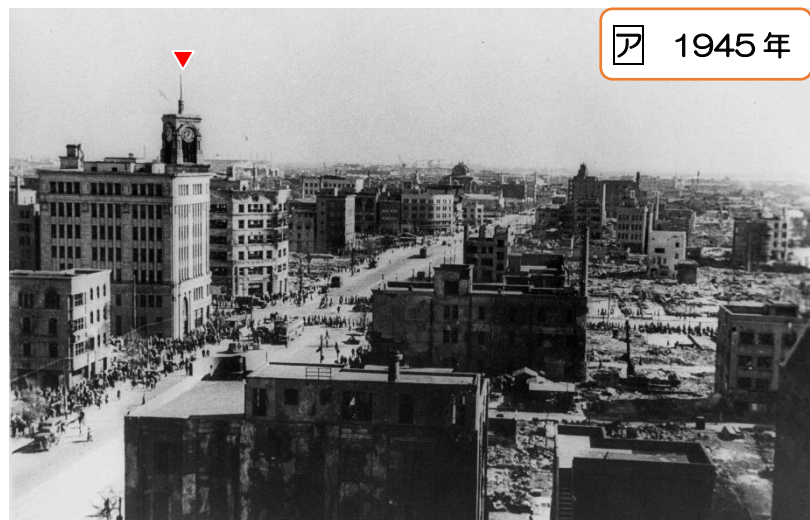


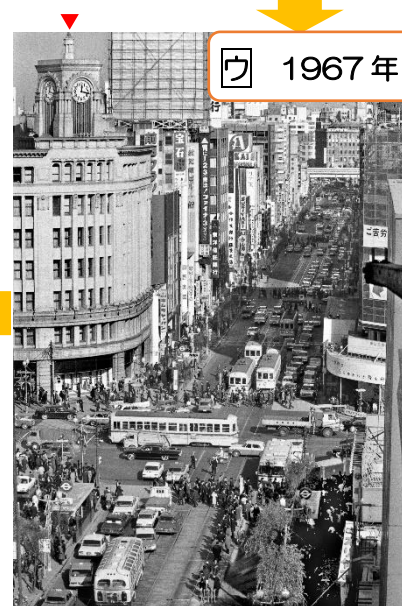
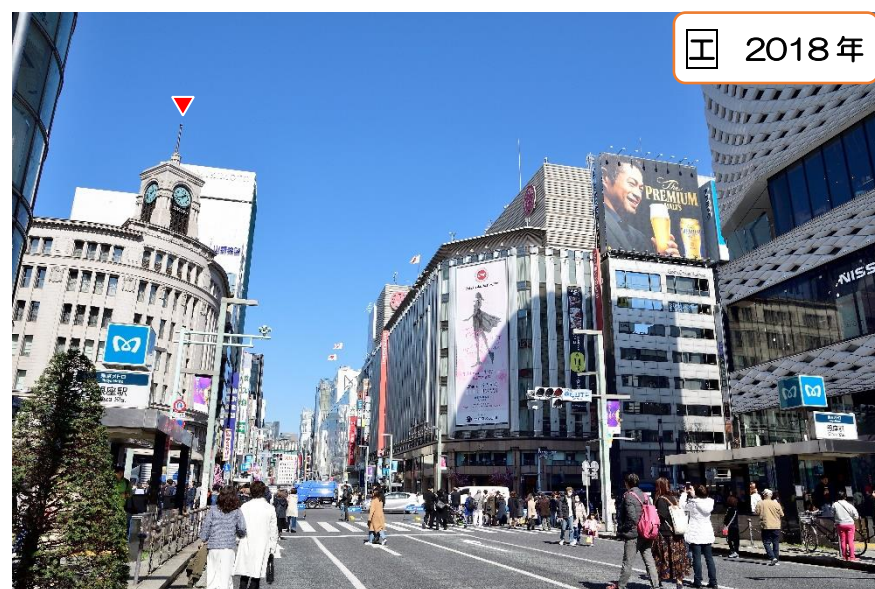
写真から読み取る まちの様子と暮らしの変化

戦後から今にかけて、まちの様子はどのように変化したか、次の4枚の写真から読み取りましょう。また、それぞれの時代の人びとの暮らしについて、写真を見て想像してみましょう。



4枚の写真は、東京都銀座のまちの様子です。それぞれの写真の▼は、時計台のあるビルをさしています。写真アは、空襲を受けたまちの様子で、焼け野原が広がっています。また、この時代は、時計台のあるビルがまちの中でとても高い建物だったことがわかります。

写真イは、アから5年後の写真です。焼け野原だった場所には建物が建っています。また、道路を行き来す



る路面電車や自動車、交差点をわたるおおぜいの人びと、商品名のかかれた看板などが見られ、戦後の混乱した状況から復興してきていることが想像されます。

写真ウは、高度経済成長のころの様子です。まちにはたくさんビルが建ちならび、時計台のあるビルより高い建物も見られます。自動車やまちを行きかう人の数も増えています。経済が発展し、人びとの暮らしが豊かになってきたことがわかります。

写真エは、現在の様子です。路面電車は廃止されています。また、休日は道路の一部が歩行者天国になっています。終戦直後の時代から、現在まで、建物や交通の様子は変わってきました。人々の暮らしも変化してきたのです。